

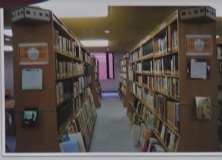
新旧図書館比較！～図書館はこう変わった～

島根県立大学松江キャンパス 学生図書委員会

島根県立大学松江キャンパスでは2018年度より新しく四年制学部の人間文化学部が設立され、2019年3月に大学図書館も新築されました。そこで、私たち学生図書委員会はキャンパス内の学生・教職員にアンケートを実施し、新旧図書館の比較をして、図書館をこれからより良くするためにできることは何かを考えました。

旧図書館

落ち着いた雰囲気



集中しやすい環境

- ・程よい狭さで人目を気にせず利用できた
- ・分類がわかりやすく本が探しやすかった。

新図書館

明るく広い開放的な館内

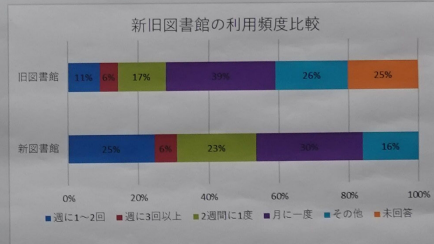
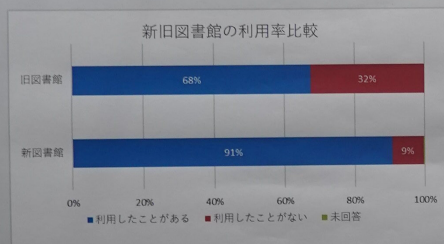


集密書架



- ・個人用のカウンター席が設置された
- ・ラーニング commons の新設（部屋数が増加）
- ・集密書架の設置によりほぼ全ての蔵書が開架に

アンケート結果



松江キャンパスの学生・教職員293名にアンケートを実施した結果

- ① 新図書館と旧図書館の利用率を比較すると、新図書館の方が旧図書館よりも利用したことがあると答えた人の割合が23%多かった。
- ② 新図書館の利用頻度について比較したところ、週に1～2回利用すると答えた人の割合が14%増加した。また、2週間に1度と答えた人数が6%増加している。アンケートには変化の理由として「設備や環境があたりやすくなったため」「授業や課題が増加したため」「卒業研究で利用するため」などの声が寄せられた。

利用者の意見・要望

- ・ 四年制大学の図書館としては蔵書数が少ない。分野に偏りがあり、物足りないと感じる。
- ・ 資料として使える参考文献が少ないため卒業研究や論文作成に困る。
- ・ 自習・学習スペースをもっと増やして欲しい。
- ・ 蔵書の位置がわかりにくいので配置図を目立つ場所に設置して欲しい。
- ・ 休日開館や開館時間の延長を検討して欲しい。
- ・ 新刊情報が欲しい。
- ・ 利用ルールについて掲示して欲しい。

【まとめ】

蔵書の内容、本棚の分類・配置について、自習スペースとしての活用についての意見が多かった。

学生図書委員にできることは？

- ・ 蔵書の配置図や分類をわかりやすく伝えるプレート等を図書委員が作ってみる
- ・ 新刊図書、推薦図書、参考文献などの情報発信を図書委員が行ってみる
(図書館新聞など既存の取り組みをもっと盛り上げる?)
- ・ 年に2回行う選書の内容を見直してみる!
- ……など、これからも学生図書委員が学生の代表として図書館をより良くするための提案をしていきたい!